

研究テーマ: 京都・滋賀情報ハイウェイを活用した行政連携実験 (1/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20033)

研究機関: 京都府、滋賀県

研究の概要:

京都府、滋賀県で利用する防災等のアプリケーションシステムを相互に接続し、府県間の情報共有や行政連携のあり方について検証を行う。

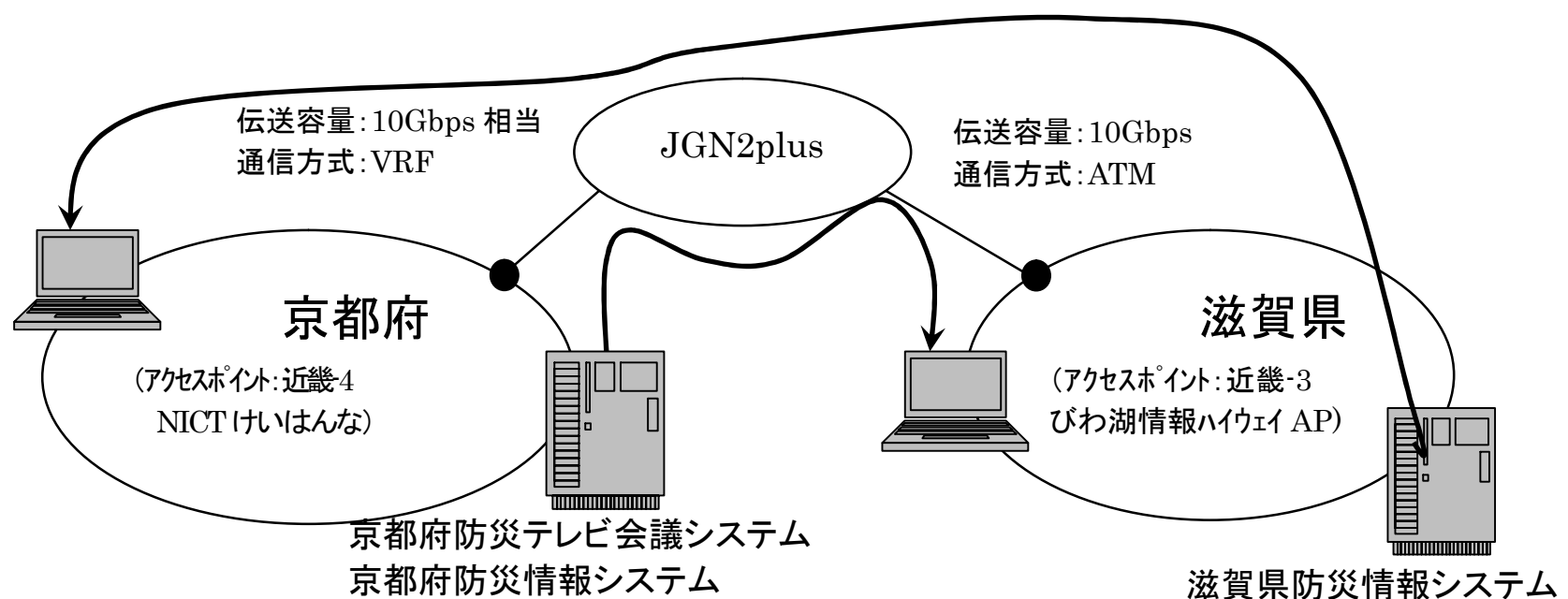
特に、滋賀県防災情報システム及び京都府防災情報システムとの連携により、地域の防災対策の可能性等を探る。

研究の目的:

京都府・滋賀県の情報ハイウェイを相互に接続し、行政連携に係る各種アプリケーションシステムの相互利用のための実証実験を行う。

京都府及び滋賀県が有する情報ハイウェイはギガビットクラスのものであり、これらのネットワークを相互に接続して映像情報等を遅滞なく転送するためには、高速の通信回線が必要となる。

実験機器構成:



研究テーマ: 京都・滋賀情報ハイウェイを活用した行政連携実験 (2/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20033)

研究機関: 京都府、滋賀県

研究開発成果:

(1) 研究開発成果

防災アプリケーションの相互接続について、互いに情報共有が図れる状態とすることができた。ただ、互いにそれぞれの情報を閲覧する状態にとどまり、その状態での行政連携のあり方について検証を行ってきた。

実環境でも綿密な情報共有が図れることが実証され、活用の有用性が確認されている。

今後、防災アプリケーション以外での相互接続、連携の可能性を探ることにより、より高度な地域間連携のあり方を探ることとしたい。

(2) JGN2plus 利用終了後の方策

防災アプリケーションの連携に一定の成果があるとわかってきたため、今後とも、当該連携を進めていく必要がある。

今後、必要なネットワークを手当てするなど、事業の継続は図っていく。

プロジェクトのアピールポイント

京都府及び滋賀県における防災対策では、連携した取組を進めることで効率的な施策が講じられることが可能と考えている。

また、防災以外のシステムについても地域間連携のあり方を探ることで、地域社会に還元できる成果は大きいと考えられる。

プロジェクトの自己評価

(1) 研究計画に基づき適切に進められたか

計画に基づき、情報共有のあり方や、行政連携に係る検証を実施してきた。

(2) 今後の課題(次のステップとして計画・検討している研究内容を含む)

防災系のシステムについては検証を続けてきたものの、今後、他システムの連携の可能性を探っていく必要がある。